

# 環境への取り組み 2013

## 環境に配慮した製品を ムダのない方法でお届けする

理想科学は、事業活動の全般を通じて、環境負荷の低減に努めています。製品の開発・設計、生産から、販売・物流まで、絶えず省エネ・省資源化に挑戦し続けます。



### 開発・生産拠点で

#### 理想開発センターで 風力・太陽光発電装置が稼動しています

2013年に開所した理想開発センターで、風力発電機と太陽光パネルを組み合わせたハイブリッド式発電システムを導入しました。2種類の自然エネルギーを利用することで、気象条件による発電量の変動にも柔軟に対応できるシステムとなっています。



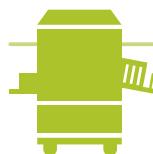
ハイブリッド式発電システム

#### 宇部工場の緑のカーテンが 表彰されました

宇部工場では、省エネ・地球温暖化防止に貢献する身近な取り組みとして、ゴーヤとアサガオを育てて緑のカーテンづくりを行っています。2013年は、管理棟の南側全面を2階まで覆う幅15m×高さ6.5mの緑のカーテンが完成し、宇部市の主催する「平成25年度緑のカーテンコンテスト」事業所部門で、優秀賞を獲得しました。



緑のカーテン



### 製品で

#### 環境に配慮した製品を発売しました

乳剤製版方式とは違い、薬品や水を使わず製版工程の大幅短縮を実現するデジタルスクリーン製版機「GOCCOPRO QS200」を新発売しました。また、モノクロレーザープリンターの新機種「Prio LP2100DN」は、従来機に比べTEC値※を約23%低減しました。その他、夜間に蓄えた電力で日中の印刷を可能にする「RISOピークシフト・プリント・システム」もご提案しています。



Prio LP2100DN



GOCCOPRO QS200



RISOピークシフト・プリント・システム

※TEC値…概念的1週間(稼動とスリープ/オフが繰り返される5日間+スリープ/オフ状態の2日間)の消費電力量。

#### 宇部工場にも遮熱塗装屋根を 採用しました

各生産拠点では、設備のエネルギー効率を高めるために、さまざまな設備投資を行っています。その一つが、太陽光の強い日差しによる、建物の表面温度上昇を抑える遮熱塗装の導入です。2012年の筑波工場に続き、2013年は宇部工場でも屋根に遮熱塗装を施し効果をあげています。



遮熱塗装された屋根



## 営業・サービス活動で

### 省資源と迅速な対応を心がけています

環境負荷の低い事業活動をめざしながら、お客様へのサービス向上に取り組んでいます。2013年は、お客様を訪問し、保守やデリバリーを行うフィールド業務においてスマートデバイスを活用した新システムの運用を開始しました。全国のカスタマーエンジニアが電子化されたマニュアルや技術資料、お客様のサービス情報にいつでもアクセスできるようになり、多くの紙資料を持ち歩く必要がなくなりました。また作業報告書のオンライン入力が可能となり、作業効率が向上

するとともに紙の出力が削減でき、環境負荷低減につながっています。

その他、お客



スマートデバイスの活用



Webによる消耗品の注文画面

様からの注文の受付方法においても、省資源と迅速な対応を重視しています。従来まで電話やFAXが中心となっていたインク、マスター、用紙などの消耗品のWebによる注文受付を行っています。

さらに、社内業務では、環境負荷の低減に注力しWeb会議を積極的に活用し、社員の拠点間の移動・出張を抑えています。



Web会議



## 調達・物流で

### 消耗品の輸送ルート最適化をめざしています

環境への負荷がより小さく、なおかつ安定して商品をお届けできるトラック、フェリー、鉄道などによる「輸送手段・ルートのベストミックス」を追求しています。たとえば、宇部工場で生産された消耗品の各地への輸送は、東日本・北海道エリアの倉庫への定期的な長距離輸送にはフェリー・鉄道を使い、お客様からの注文分はトラックを使います。トラックでは運行ルートの各配送拠点で降ろした荷物の空きスペースに別の荷物(回収した空インクボトル・製品・部品など)を載せることで、積載効率を高め、環境負荷の低減を図っています。

#### ■ 消耗品の輸送ルート

